

イスラエルは

「パレスチナ人死刑法」 を直ちに廃止せよ！

イスラエル議会は3月30日に、事実上死刑が廃止されているイスラエルで、ヨルダン川西岸のパレスチナ人だけを死刑にする、あからさまな人種差別の法律を可決しました。ヨルダン川西岸では武装した極右の入植者がパレスチナ人住民を襲っています。極右のユダヤ人は殺人しても裁判にもかけられません。ところが、これに反撃して相手を殺せばパレスチナ人は死刑にするという驚くべき法律です。すでに拘束されている多数の囚人のうち殺人に関係する囚人にさかのぼって適用され死刑になる可能性もあります。イスラエルはヨルダン川西岸で、国連が違法だと禁止する入植を合法化し、暴力的で凶暴なユダヤ人入植者がパレスチナ人の土地を奪うのをイスラエル軍が支援しています。イスラエルの安保大臣であるベン・グヴィルは「俺は囚人の全ての権利を奪ってやったが、今命も奪いたいと思っている」とXに投稿しました。イスラエルはもうナチスのような国になっています。

人種差別と死刑適用に対して、国連をはじめ世界の人権団体から非難の声が上がっています。イラン攻撃、レバノン侵攻、パレスチナのガザの封鎖とイスラエルは至る所で戦争をしかけ、人々を殺しています。戦争国家イスラエルを許しておいて、中東の平和は来ません。国際的な声で米とイスラエルの侵略行動を非難し、戦争をやめさせましょう。ジェノサイド国家イスラエルに対する国際的ボイコットを強め一層孤立させましょう。日本政府に対してイスラエルとの一切の協力、とりわけ軍事協力をやめ、武器の輸入を行わないよう要求しましょう。

米は戦争を終わらせろ！イラン包囲と挑発をやめろ

イラン戦争は新しい局面に入りました。トランプ大統領は4月7日にパキスタンを仲介に2週間の停戦とイランとの戦争終結交渉に入りました。大規模な攻撃ではイランを崩壊させることができなかつたのです。しかし、米国は交渉でも要求を吊り上げ、第1回の交渉を決裂させました。その直後からイランの海上封鎖を宣言し、イランに出入港するタンカーを阻止し始めました。軍事的圧力で要求を飲まそうとしています。しかし、イランは戦争終了のために交渉には応じるが、無理難題には応じないという毅然たる態度を崩していません。米国は第2回の協議を試みざるを得なくなっています。

この戦争は米国とイスラエルが一方的に始めた国際法違反の侵略戦争です。両国はイランから攻撃もされず、脅威も受けていないのにイランを攻撃したのです、米国は不当な侵略戦争を直ちに終わらせるべきです。米国は戦争を続けたがり、レバノンに侵略拡大するネタニヤフのイスラエルを押し込めたいのです。

トランプ大統領は停戦期間をイランに不利な条件を押し付けるか、ダメならば大規模戦争を再開するための兵力と弾薬(対空ミサイルなど)補充に利用するつもりです。しかし、戦争再開はイランのインフラと石油施設に甚大な影響を与えるだけでなく、イスラエルと湾岸諸国の石油生産に壊滅的な打撃を与えずにはおきません。石油価格の高騰は世界経済に壊滅的打撃を与えるでしょう。

米国に戦争を絶対にやめさせなければなりません。そのために世界中から声をあげましょう。トランプ大統領は戦略的敗北を認め、イランとの交渉で戦争を終わらせるべきです。高市首相はイラン相手にいわれのない非難を止め、国際法違反の戦争を直ちに止めるようトランプに要求すべきです。それがホルムズ海峡の安全な解放の一番の近道です。

ライブ・イン・ピース☆9+25

<https://www.liveinpeace925.com> Email; info@liveinpeace925.com 2026年4月16日



米国はキューバの人々を絞め殺す 石油封鎖を直ちにやめろ

トランプ大統領はキューバも絞め殺そうとしています。1月29日に、トランプ大統領は、キューバに石油を供給する国に大幅関税を課し、事実上石油封鎖を実施しました。もう3か月もキューバには石油が届きません。トランプ大統領は次にキューバの現政権を転覆すると公言しています。この石油封鎖は、キューバの人々に深刻な人道的悲劇をもたらす戦争犯罪です。直ちに封鎖を解除を求めます。



キューバに支援物資を届ける欧州からの船団

これまでの経済封鎖はキューバ経済に打撃を与えてきましたが、今回の石油封鎖はそれに輪をかけて深刻な被害を生み出しています。キューバで給油が困難となり長距離の航空便が急減しています。ガソリンの不足はスクールバスが止まって生徒が学校に行けなくし、病人たちが病院に行くことさえできなくしています。長時間の停電は水道の送水さえ止めています。多くのキューバ市民が仕事を失い、健康と生命を脅かされる危機にむかって追いやられています。米国のしている封鎖は、国際法に違反するだけでなく、事実上の戦争行為です。

キューバ政府と人民は、決して脅しに屈しません。最後まで闘い抜くでしょう。キューバ政府は、米国に話し合いによる解決を求めるとともに、国際社会が米の「経済的侵略行為」に立ち向かい、国際秩序と正義を共同で守るよう呼びかけています。メキシコや中国は人道物資を送っています。ロシアは米の軍事的封鎖を突き抜けてタンカーを送り込み、石油支援を行ないました。米国をはじめラ米、欧州から多国籍の支援船団が次々と到着しています。今こそ石油封鎖の解放を！

拉致されたマドゥーロ・フローレス大統領夫妻を解放させよう トランプはベネズエラ侵略、恫喝をやめろ！主権を認めろ！

米国は1月3日にベネズエラのマドゥーロ・フローレス大統領夫妻を拉致し、空爆で100人以上の人々を殺しました。とんでもない国際法違反の侵略行為です。ベネズエラでは大統領拉致以来毎日のように大規模なデモや集会が開かれています。世界中からも二人の解放を求める声が上がっています。日本からも米国の暴挙糾弾の声が上げられました。



ところが、高市政権はこの驚くほどあらゆる国際法違反の暴挙を批判せず、容認しています。いかに無批判に米国べったりなのでしょう。彼らがいつも口にする「秩序とルール」がいかに自分勝手なものか明らかです。



マドゥーロ大統領の第2回裁判では彼らが他の収監者と接触を絶たれた悪条件にさらされ、制裁を理由に本国からの費用で弁護士を付けさせない人権無視の状態におかれていることが明らかになりました。

私たちは、米国政府が直ちにマドゥーロ、フローレス大統領夫妻を解放し、ベネズエラに対する威嚇と攻撃をやめるよう求めます。